



なかよし五人組で夏まつりの仕入に

ゆり北

第146号 (14期第4号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話03(3938)9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

9月1日

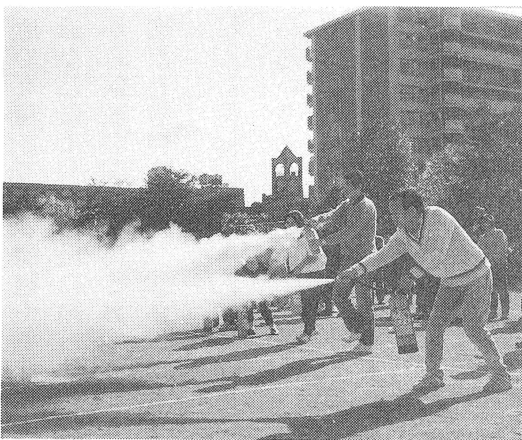
救出・救助、初期消火など

実践的な訓練に参加を！

奥尻の地震・津波災害から三年、阪神・淡路大震災で六千名余の人命が失なわれてから一年七カ月が経過しました。建物や道路などの復旧は目を見はるものがありますが、今なお仮設住宅での厳しい夏を四万余の方々が過しています。生活の再建、こころの癒しには、なお時間が必要な様です。

自治会では、「喉元過ぎれば、熱さを忘れる」ことのない様にと、防災マニュアルづくりや防災訓練への参加を会員の皆さんに広く呼びかけてまいります。

九月一日(日)は「防災の日」です。板橋区をはじめ各自治体が中心になつて防災訓練が全国で繰り広げられますが、下赤塚地区でも下赤塚小学校を会場に訓練が行なわれます。今



繰り返しの訓練が大事です

年の訓練では、災害弱者への安全確保をテーマに、赤塚福祉園も参加して行なわれます。また避難所開設訓練や救出・救助訓練も行なわれ、地域の防災組織による実践的なものとなっています。

日曜日、ちよつと朝寝したい気分

集合 九時五〇分、ゆりの木保育園前
出発 十時、下赤塚小学校まで

タバコの投捨てでプールに大損害

救出・救助訓練、応急救護訓練、初期消火訓練には、皆様にも参加していただきます。各号棟の世帯の割の参加をお願いします。自治会世話人の方、管理組合防災リーダーの方は率先してご参加下さい。なお、ゆりの木北団地の独自訓練は十月末に行なう予定です。

七月中旬に、十一号棟一階にあるゆりの木保育園から電話をいただきました。保育園では、七月に入って園児の水遊び用に、ビニールプールを使っています。夜間は、水を抜いて園庭に置いておくのですが、朝来て見ると、煙草の吹い殻により大きな穴があいていました。上階から火のついたままの煙草が投げ捨てられたものと思われる。七月に二回も穴があけられてしまいました。この

他にも園庭に落下物が時々あります。最近では部屋で煙草を吸えず、ベランダで「ホテル族」をされる方が増えているとか。それにしても「火の仕末」はキチンとしていただきたいものです。過去にも、ペランダの吹殻が燃え上がり一十九番通報により消防車が出動した事件もあります。マナーを守って住み良いまちをつくりましょう。

二三区自治協

六月九日に開催された東京二三区公団住宅自治会協議会・第一七回定期総会に参加しましたので、要旨を報告します。

①公団家賃制度の改善要求

家賃制度を居住者の収入実態に応じて決める、三年毎の家賃改定を止める、高齢者・低所得者のために現行の「特別措置」の改正を求める。

②「建て替え」政策の見直し要求

建て替え後の高家賃で戻り入居率が五〇％に満たない団地が続出している。継続入居ができる家賃制度を考

③公営住宅法改正案

昨年六月政府の諮問機関である住宅地審議会が「公営住宅法の見直し」を提言した。将来の方向として、入居基準の引き下げ、家賃は民間並

国の補助金の削減、基本的に住宅の確保は自助努力でというもので、これまでの「住まいは福祉」という政府の住宅政策の転換を迫るものである

今後の成り行きを注目して行きたい。(西澤 記)

全国自治協は、六月二三日、二四日の両日、千葉県富津町で総会を行い

ました。ゆりの木北自治会は委任状を提出しました。公団との定期協議の報告や建替え対象団地のアンケート調査の報告があり、活発な討議がありました。新年度の活動方針は①公共住宅政策の後退に反対し、安心して住み続けられる公団住宅と家賃制度をめざす。②高家賃「建て替

応能家賃、防災対策など

加入組織の総会開く

した。

家賃問題では年金生活者、低所得者が住み続けられるよう、福祉的施策を取り入れ所得に応じて負担する家賃制度を要求し、家賃負担限度率を入居者の所得の一〇％以下にするよう提起しています。

光が丘連絡協は、六月三十日(日)に光

神戸に公共住宅を！

署名ありがとう

被災後一年半が経過しようとしている現在に至っても、二七自治体で六九三箇所約五万戸の仮設住宅に、約十万人の人々が生活しています。また「孤独死」が大きな社会問題になりつつあります。

そうした中で、公団住宅自治会関西協議会は仮設住宅居住者に一日も早い大量の公共住宅の供給を政府に求めることを決め、全国の自治会に署名の協力を要請してきました。

ゆりの木北自治会にも東京二三区公団住宅自治会協議会を通じて協力要請があり、東京で大地震が発生すれば私達も同じ境遇となりますので、自治会として署名に協力することにしました。但し、署名用紙枚数の制約から、賃貸住宅に限って回覧形式で居住者に署名の協力をお願いしました。

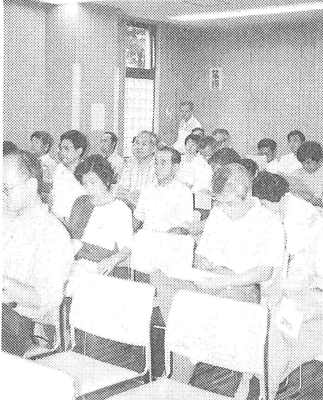
その結果、二八九世帯の八五五名の方々が署名に協力して下さいました。誠にありがとうございます。

住宅対策部 安倍敏陽

大掃除ご苦労様でした

去る七月二十九日のゆり北夏の清掃には参加者八十名をかぞえました。三十度を超える暑さの中の作業でしたが、大勢の方の参加を頂き無事終了いたしました。大変ご苦労様でした。次回は十二月に予定しております。

環境防災部 佐竹



光が丘連絡協の総会

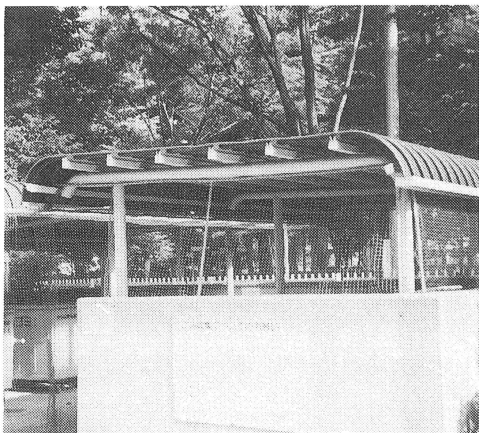
カラス軍団対策

防鳥網の設置を望む

最近のカラス軍団の傍若無人ぶりは目に余るものがあります。とりわけゴミ集積所の荒らし方はひどいものです。そこで提案があります。ゴミ集積所の側面をゴルフ練習場のネットのような網で囲ってもらえないでしょうか。側面さえ囲ってもらえばカラスは侵入しないと思うのです。屋根はあるのですから、金額もさほどかからないと思うのですが。よその団地では実績もあると聞いています。

かしましよう。毎日のようにカラスの荒らした後始末をする掃除のおぼさんの気持ちにもなつて心がけましょう。

カラスに悩む住人
(管理組合では十号棟北側に金網を設置しました。)



十号棟の実施例

日頃から地域に目を

防犯地域懇会に出席して

それから皆さん、ゴミを箱に入るときは、きちんと蓋をしましょう。蓋がでないくらい一杯になっているときは、できるだけ空いているところを選んで入れ、それでも入らないときは、カラスにつつかれないように、ダンボールの空き箱に入れるとか、ダンボールのシートで覆うと

六月二十九日に開かれました防犯地域懇談会に出席しましたが、何よりも大切なことは住民が地域の生活に関心を持ち、防犯対策に積極的に参加することではないかと思いました。

以下、私の感想を申し述べます。

①団地内で起こった事件は、できるだけその事実を正確に把握するため、当事者および関係者から直接話を聞くことが望ましいと思います。

今回、警察や小・中学校と情報交換が行われましたが、今後もこのような会合を続けて欲しいと思います。

②当団地は、もちろんのこと他の団地でも起きている問題や事件を広報紙などによって住民に知らせ、日頃から住民の関心を得ておくことも大切だと思いました。③住民ひとりひ

とりが日頃から自分の周囲に目を配り、常に自分に何ができるかを考え、事件発生時には、積極的な行動をとることが何よりも大切だと思います。

七一一〇三 佐藤晶子

(スペースの都合により、編集部で一部調整させていただきました。)

竹細工と

おまつり

小野上村交流記

ふるさと交流会の第2回目が八月四日にありました。

小野上村には前日の五時半頃つき

ました。設営場所は今回は温泉公園内の芝生の上でマットもいらない最高の場所でした。但し、虫よけスプレーを忘れなければ……又、鮎釣りのバスが朝3時に到着、エンジンをかけっぱなしで夜明けまで待機されたのには参りました。

おとり鮎を売っている漁連のお兄さんから聞いたところ、前日に25セ

ンチの鮎が釣れたそうです。さて、交流会の方は今回竹細工でした。村の神社の境内に太い竹が何本も用意されていました。

まず、流しソーメンと五平餅用に

自分の箸、器、へらを作りました。へらに御飯をつけて味噌を塗り、焚火で焼きました。神社の石段の上から流れるプール方式ではない本格的流しソーメンに子供達も大喜び、大人も童心に戻って楽しんでしまいました。

竹細工では、竹かごの作り方を指導してくれるのは先生が体調をくずして不参加でしたが、めいめい弓矢、水鉄砲、杓、箸置き、け

んだま、輪投げなど作りました。

小野上村が「ゆりの木夏まつり」にも来て交流しているところを収録したいとCATV局の依頼も受けました。小野上村直送のトウモロコシを焼きます。ぜひ買いにきて下さい。また丁度この日が「おのがみ祭り」でした。向こうの夏祭りは豪華でした。山本コタローのライブショーを始めとする、芸能人のライ



流しソーメンに舌づみ

ブショーと三、四号二〇〇発、スターマイン五基ナイアガラ一基の花火大会がありました。また、子供達は盆踊りに飛び入り参加もしてました。小野上太鼓も聞いてきました。空一杯の花火に送られるようにして帰路につきました。それにしても小野上村の蚊にさされたあとはかゆい。

一一六〇三 田中

団地生活を快適にマナー編(1)

風鈴の音も

時には迷惑

パリで長らくアパート生活をしていた奥さんが憤然として言いました。

『日本の団地族のマナーの低さ、特に音に対する無神経さ、深夜の大声、日中のフトン叩き、風鈴の音も時には迷惑、こんなことをしたら、パリじや、それこそイジメに遭うわよ』と。

とにかく集団生活の中では、静かにする、これが大原則といっています。夏は、どうしても窓を開け、網戸だけという家庭も多いと思います。騒音はどのシーズンよりも多く

飛び込んできます。団地における最大の苦情は、依然として騒音です。深夜の騒音で寝付けず、朝は早くカラスの鳴き声で起こされては、ただでさえ寝苦しい夏の夜、たまつたものではあります。お互いを心やる気持ちを持ちましょう。匿名希望

あぶない!

はみ出し自転車

各棟の自転車置き場は、毎年暮れの大掃除の時に不用自転車の撤収を行い、整理整頓され、すっきりと使いやすいようになりますが、半年も経つとまた乱雑になってきます。

「一台ぐらい、まあいいか」とはみだした自転車が溜まった後は、そばを歩くのさえ気を遣い、危ないことと言ったらありません。

不心得者の自転車をちよつと直して入れるくらい、時間があり、体も疲れていなければ何のことはありません。でもそうやって気がつく方はいつも整理して、面倒くさがりの自転車を動かす。だけどもいつもというわけにはいかない。何かやっぱり腹立たしい。「自分の自転車くらいきちんとして欲しい」と思っています。それが社会の常識でありマナーではないでしょうか。

自転車置き場が狭くて使いにくくても、みんなルールを守り、そこで誰もケガをしなすことのないようにしたいものです。(環境部)

会員のひろば

インターネットで香港の電子メール



のほかにインターネットではホームページという、会社や個人の美しい画像入りの紹介文を世界中に発信で

きるなど、世界を相手にいろいろな情報交換を行うことができます。なおインターネットへの接続方法には

いろいろありますが、一番手っ取り早いのは、アサヒネットなどのパソコン通信サービスに加入して、このネットがサービスするインターネット接続機能を利用するのがよいでしょう。私のアドレスは、次の通りです。よろしかったらメールをください。

E-mail: mazh-smnd@asahi-net.or.jp

一一六〇五 島田

毎日、新聞に載らない日はない「インターネット」。さてインターネットとは、一体どんなものかと、よく聞かれます。簡単に言えば、パソコンと電話回線で世界中の人々が手紙や画像、さらには音声までもやりとりする通信網といったらいいでしょう。

このインターネットを使って、一番よく利用されているのが電子メールです。これは、手元のパソコンで作った文章を、国内はもちろん、地球の裏側にいる人にも、ほとんど瞬間的に送る郵便のことです。私は香港にいる息子にこうして手紙を送っています。費用も一回一〇円くらいで済みます。そ